

JMS NOTES



「人と医療のあいだに…」

第51期 第2四半期事業のご報告

2015年(平成27年)4月1日～2015年(平成27年)9月30日

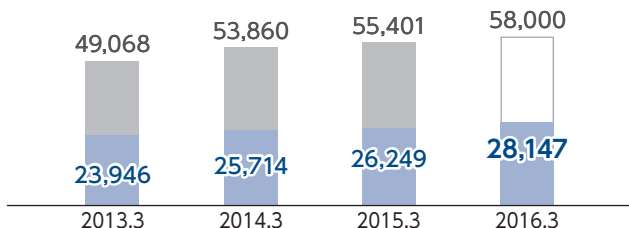
JMS
証券コード 7702

連結財務ハイライト 第51期 第2四半期業績(累計)

売上高

281億47百万円

(百万円) 第2四半期 通期 予想



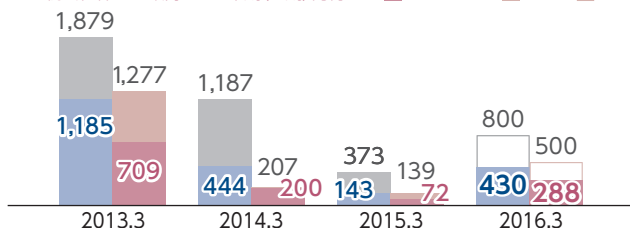
経常利益

4億30百万円

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 2億88百万円

(百万円) 経常利益 第2四半期 通期 予想

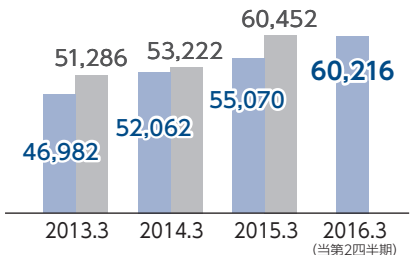
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 第2四半期 通期 予想



総資産

602億16百万円

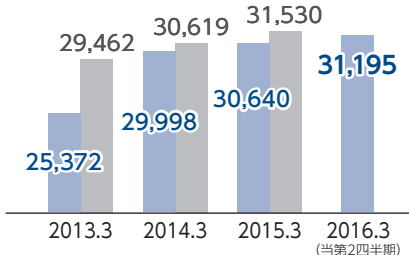
(百万円) 第2四半期 通期



純資産

311億95百万円

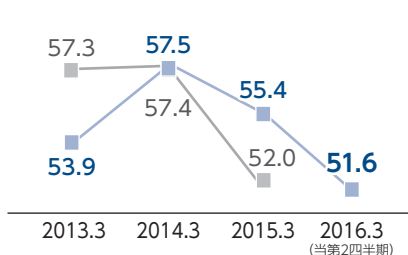
(百万円) 第2四半期 通期



自己資本比率

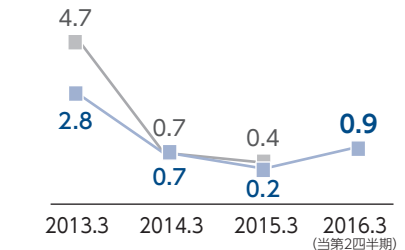
51.6%

(%) 第2四半期 通期



自己資本四半期(当期)純利益率(ROE) 0.9%

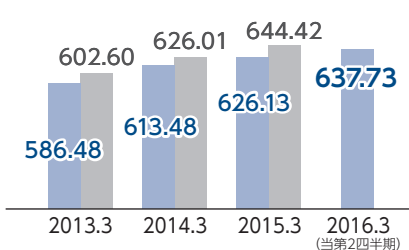
(%) 第2四半期 通期



1株当たり純資産

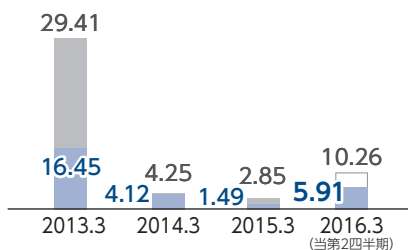
637円73銭

(円) 第2四半期 通期



1株当たり四半期(当期)純利益 5円91銭

(円) 第2四半期 通期 予想



【見通しに関する注意事項】

上記予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おください。

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに、当社第51期第2四半期(2015年4月1日から2015年9月30日まで)のJMS NOTESをお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

当社グループの業績は、国内においては、白血球除去フィルター付血液バッグの販売開始に加え、人工心肺装置の販売が増加しました。海外においては、AVF針(血液透析用針)の販売が好調に推移しました。

この結果、当第2四半期の売上高は、前年同四半期に比べ18億98百万円増加の281億47百万円(前年同四半期比7.2%増)となりました。

利益につきましては、販売費の増加があるものの、増収の効果により営業利益は、前年同四半期に比べ4億77百万円増加の5億23百万円となりました。経常利益は、持分法による投資利益を計上した一方で、為替差損を計上したこと等により4億30百万円(同200.9%増)となり、固定資産売却益や税金費用等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億88百万円(同296.1%増)となりました。

中間配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、1株につき4円とさせていただきます。

当社グループを取り巻く環境は、海外においては、新興国を中心に医療市場の成長が続き、現地及び各国メーカーによる競争も激化しています。また、国内においては、医薬品医療機器等法が制定され、異業種からの新規市場参入が加速するとともに医療機器に対する安全性や品質等への要求が一層強まる一方で、少子高齢化の進展、国家財政及び医療保険財政の深刻化を背景に、薬価・材料価格を引き下げ、医療費全体の伸びを抑える医療政策が継続しています。

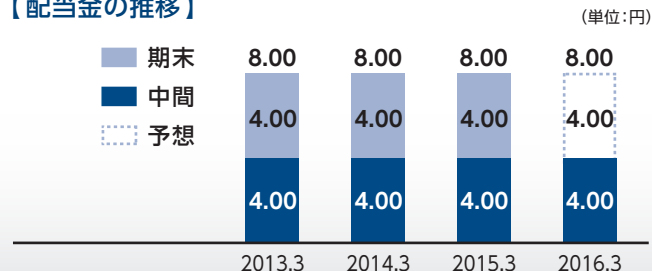
代表取締役社長
奥窪 宏章

このような環境において当社グループは、「かけがえのない生命(いのち)のために」という創業精神のもと、医療現場の課題を的確にとらえ、その解決に真に役立つ製品を開発・提供し、医療環境における安全・効率化に貢献してまいります。また、創立50周年を迎え、先人たちが残した軌跡を改めて振り返るとともに、その志である「医療の発展」に力を尽くし、社会へ貢献していくための新たな「挑戦」を歴史に刻んでまいります。

株主の皆様には、今後とも格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2015年12月

【配当金の推移】

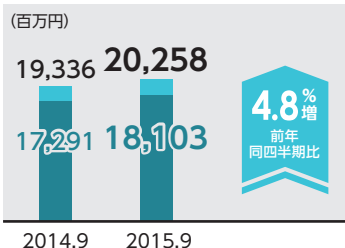


【所在地別】

日本

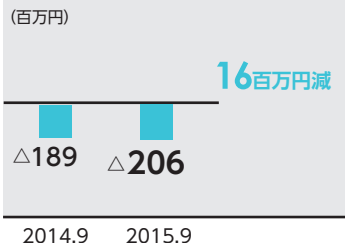
売上高 **202億58百万円**

(外部顧客への売上高 181億3百万円)



白血球除去フィルター付血液バッグの販売開始に加え、人工心肺装置の販売が増加しました。

セグメント利益 **△2億6百万円**

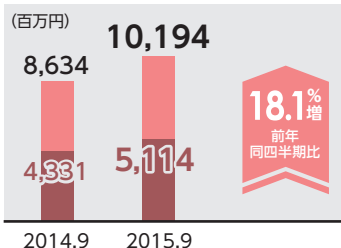


増収の効果があるものの、たな卸資産廃棄損の計上等により利益が減少しました。

東南アジア

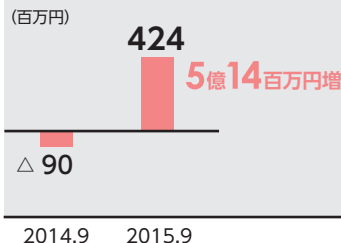
売上高 **101億94百万円**

(外部顧客への売上高 51億14百万円)



北米向けの成分献血用回路の販売が好調に推移しました。

セグメント利益 **4億24百万円**

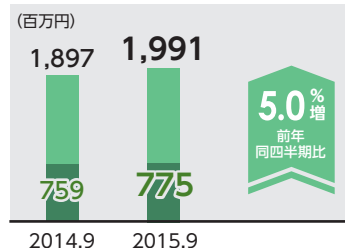


増収の効果により黒字となりました。

中国

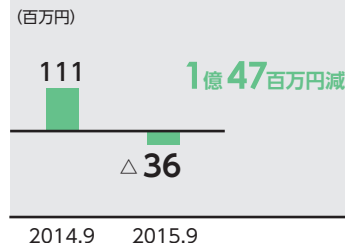
売上高 **19億91百万円**

(外部顧客への売上高 7億75百万円)



中国国内向けのAVF針の販売が減少したものの、円貨換算額により増加しました。

セグメント利益 **△36百万円**



為替による円建ての売上取引金額の減少により利益が減少しました。

(注) セグメント利益は、経常利益ベースの数値であります。

白血球除去フィルター付 血液バッグ

献血で採血した血液の保存、輸血に用いられるバッグです。採血した血液から、輸血による副作用の原因の一つである白血球を取り除くフィルターが付いています。



AVF針(血液透析用針)

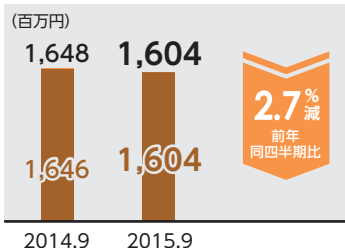
血液透析を行う際に、シャント(動脈と静脈を接合した部位)から血液を体外へ取り出すための針です。



ドイツ

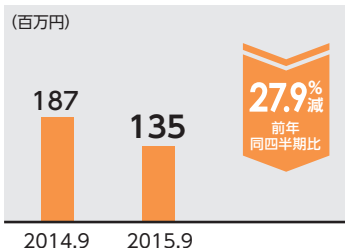
売上高 **16億4百万円**

(外部顧客への売上高 16億4百万円)



オーストラリア向けの透析チェアの販売が増加したものの、円貨換算額により減少しました。

セグメント利益 **1億35百万円**

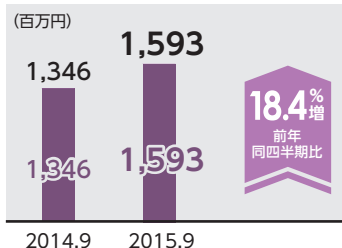


為替による円建ての仕入金額の増加により利益が減少しました。

アメリカ

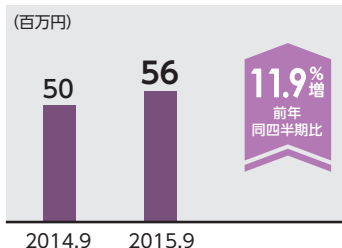
売上高 **15億93百万円**

(外部顧客への売上高 15億93百万円)



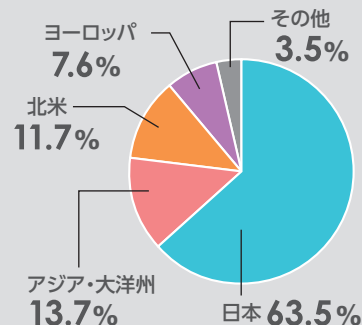
中南米向けのAVF針の販売が増加しました。

セグメント利益 **56百万円**

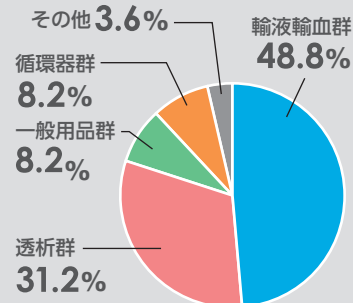


販売費の増加があるものの、増収効果により利益が増加しました。

地域別売上高構成比



システム別売上高構成比



輸液輸血群

輸液セット、経腸栄養システム製品、血液バッグ、成分献血用回路、シリンジ(注射筒)、注射針 他

透析群

血液透析装置、人工腎臓用血液回路、AVF針、プレフィルドシリンジ製剤、腹膜透析液 他

一般用品群

医療用手袋、不織布製品 他

循環器群

膜型人工肺、ペースメーカー、人工心肺装置、人工心肺回路、血管造影用・治療用カテーテル 他

人工心肺装置

心臓手術の際に、停止させた心臓の代わりに身体へ血液を送り出すポンプです。



舌トレーニング用具「ペコぱんだ®」

飲み込みに必要な舌の力(舌圧: ぜつあつ)を鍛えるトレーニング用具です。



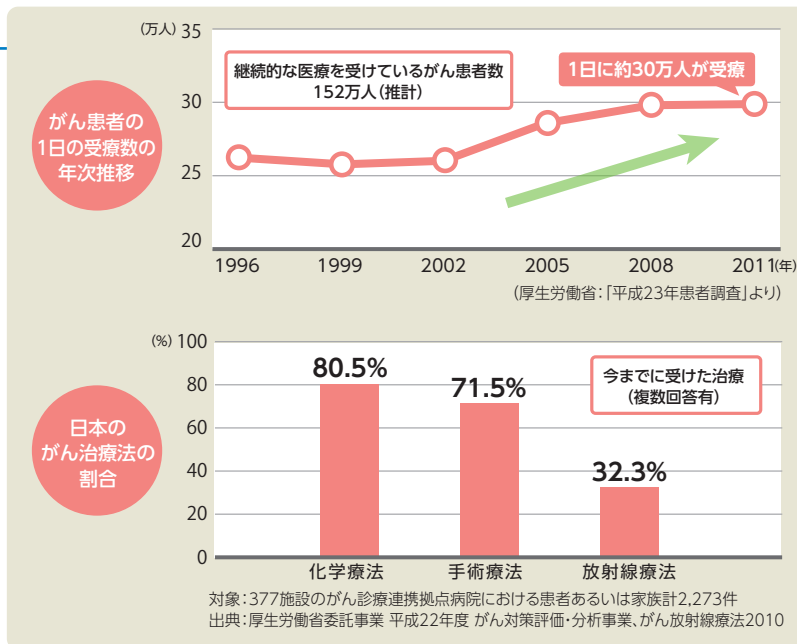
「医療従事者の方々を守る」ことはJMSの大切な使命です。

抗がん剤は、がん治療において高い治療効果がありますが、その作用が患者さんだけでなく薬剤師や看護師の方々に及ぼす影響について、医療の現場で大きな課題として認識されるようになってきました。JMSでは医療従事者の方々の安全を守ることにも積極的に取り組んでいます。

■ がん患者数の推移と抗がん剤治療

「日本人の2人に1人ががんにかかる可能性がある」といわれるほど、がんは身近な病気になってきました。

統計によれば、がん患者数は年々増え続け、がん治療を受ける人は1日約30万人にものぼります。がんの治療法としては、手術のほか放射線治療と抗がん剤による化学療法があり、化学療法は最も多い割合で行われています。人の生命を救うはずの抗がん剤が、一方で医療従事者の方々の健康を冒すリスクがあることをご存じでしょうか。



■ 医療従事者の方々への対策の必要性

抗がん剤は、がん細胞を攻撃する力がありますが、その薬の作用は抗がん剤を扱う薬剤師や看護師など医療従事者の方々の正常な細胞にも影響を及ぼします。適切な対策をしなければ、たとえ微量の抗がん剤でも毎日続けると皮膚や呼吸器から体内に取り込まれ、やがては深刻な病気を引き起こしてしまうリスクがあるのです。



適切な対策を
しなければ
リスクが高まる。

■ 抗がん剤を扱う上でのリスク

医療現場で抗がん剤にさらされるリスクは、主に製剤室で薬剤師が抗がん剤を「調製」する時と、病室で看護師が患者さんに「投与」する時があります。

調製時は、抗がん剤を輸液容器に入れる作業を行います。その作業で器具を抜き差しする際に皮膚や呼吸器から吸収してしまうリスクがあります。また投与時は、病棟で看護師が輸液容器やチューブなどを取り扱うため、ここでも抗がん剤の漏れや飛沫にさらされる危険性があります。

がん治療に携わる薬剤師や看護師の方々は、日常的にこれらのリスクと直面しています。

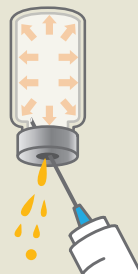
調製時のリスク

① 抗がん剤の溶解



② シリンジに採液

バイアル瓶と針を抜き差しするときに漏れや飛散



③ 投与する抗がん剤の計量

シリンジ針先から漏れ



④ 輸液容器に注入

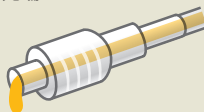
針を抜き差しする際に漏れや飛散



投与時のリスク

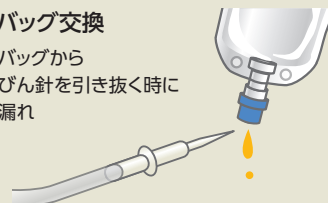
⑤ プライミング

輸液セットを薬液で満たすときにチューブの先端から漏れ



⑥ バッグ交換

バッグからびん針を引き抜く時に漏れ



医療従事者への抗がん剤曝露※リスク対策と現状

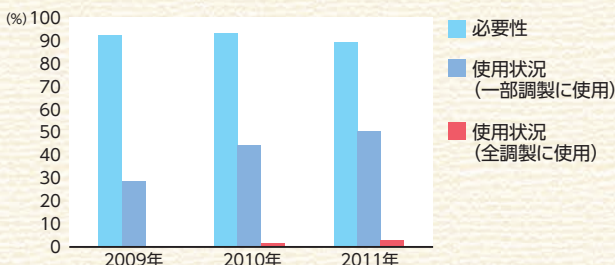
欧米では1980年代から抗がん剤の曝露リスクに対し警鐘が鳴らされていましたが、日本での対策は遅れていました。

医療現場からの声により、リスクに対する認識は徐々に広がっていますが、リスクを軽減するための「クローズドシステム（閉鎖式システム）」は外国製のものしかなく、高いコストにより、現場への普及は今も十分に進んでいません。

しかし2014年5月、厚生労働省から日本病院薬剤師会に対し「抗がん剤に対する曝露防止対策」を積極的に導入するよう通達、同じ時期に医療界からは「抗がん剤曝露対策協議会」が設立されるなど、この課題に対する関心の高まりは急速に広がっています。

「クローズドシステム」に対する意識と使用状況

全国約265施設にアンケート調査（論文より抜粋）



「クローズドシステム」はコストが高く普及が十分ではない。

出典：平成23年度学術委員会学術第3小委員会報告 注射剤の安全使用に関する研究（最終報告）

※曝露：有害物質や病原菌にさらされること。

独自の抗がん剤調製・投与クローズドシステム 「ネオシールド®」の開発・販売を 開始しました。

■ 国産初の抗がん剤調製・投与クローズドシステム

JMSでは、抗がん剤曝露対策を必要とする医療現場からの声を聞き、抗がん剤を安全に調製・投与するシステムの開発に取り組んできました。

そして国産としては初めての抗がん剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド®」を開発。2014年10月より、販売を開始しました。

3つの特長

- | | | |
|------------|---|------|
| ① 閉鎖性が高く | → | 安心設計 |
| ② ワンタッチで接続 | → | 簡単操作 |
| ③ シンプルな構造で | → | 低コスト |



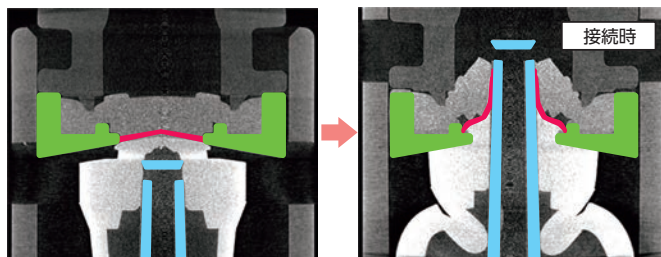
特長 ① 安心の閉鎖性能

「ネオシールド®」の一番の特長は、高い閉鎖性です。

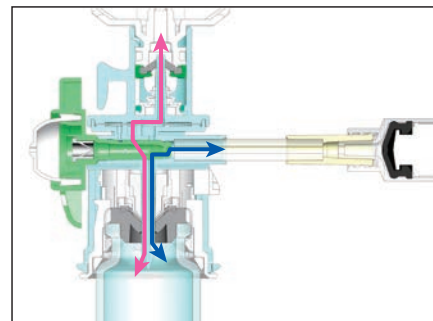
これまでの医療機器開発で培った“クローズド”技術を用いることで、漏れや飛散を抑えています。

また空気と薬液の経路を別に設けて容器内の圧力を調節する独自機構を新開発。この新発想の技術により、容器内の圧力上昇による漏れや飛散を防ぎます。

CT画像



▲ 接続部に高い閉鎖性能

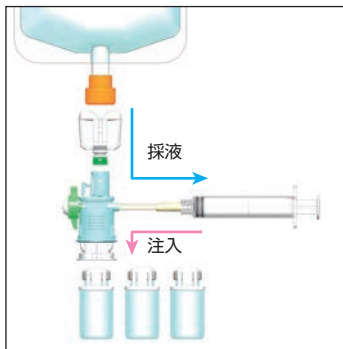


▲ 新発想の技術で内圧調整

特長 ② 取り付け・取り外しは、すべてワンタッチ

「ネオシールド®」は、独自のシステム構成によりパーツの取り付け・取り外しの手間が少なく、閉鎖的な環境を維持したまま操作できます。

各パーツの接続部は、すべてワンタッチ操作で取り付け・取り外しできる設計です。操作性が高く、熟練を要しないシンプルなシステムにすることで、安全に取り扱えます。



▲ 一つの「ネオシールド®」で複数のバイアルを調製可能



▲ 接続部はワンタッチ操作

特長 ③ 導入しやすい低コスト設計

どんなに性能が優れていても、実際の医療現場に導入されなければ、その効果を発揮することはできません。

コストを抑えられるよう、「ネオシールド®」は開発段階から、必要なパーツ数を少なくし、各パーツに用いる部品数も極力少なくする工夫をしました。

閉鎖性能と操作性は高く、そしてコストは低くというコンセプトで開発したのが「ネオシールド®」です。



▲ 必要なパーツ点数が少なく低コストを実現

「ネオシールド®」導入により期待される効果

「ネオシールド®」は、これまで導入のハードルとなっていたコスト課題を解決することで、全国のがん診療連携拠点病院をはじめとする、多くの医療機関への導入が期待されています。導入が進むことで、医療従事者の方々が安心して働ける職場環境をつくるだけでなく、患者さんにとっても安心な治療環境を整えることができます。

病院にとってのメリット

曝露リスクを抑えた医療環境を実現できる

医療従事者にとってのメリット

安心して医療行為に専念できる

患者さんにとってのメリット

抗がん剤への不要な曝露を抑えられる

(株)ジェイ・エム・エス 創立50周年

創立50周年 記念式典を執り行いました。

ジェイ・エム・エスを育ててくださった皆さまに、
50年の感謝とこれからの決意をお伝えするために。



2015年7月10日、リーガロイヤルホテル広島にて、「JMS 創立50周年記念式典」を執り行いました。

会場にはお取引先さまをはじめ、行政や公益機関の皆さまなど、約300名の皆さまにご出席いただきました。

式典では、50年間の歩みを振り返り、社長 奥窪より感謝の心を伝えるとともに、未来へ向けての方向性と新しい理念体系「JMS WAY」を発表し、世界のトップブランドを目指す決意を表明いたしました。

また祝宴では、社長以下役員や社員がご出席くださった

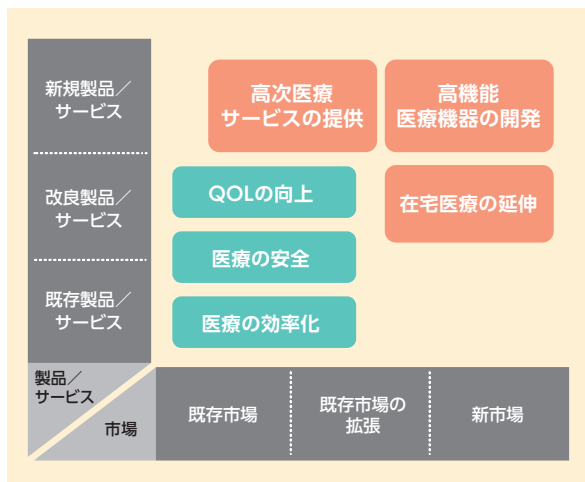
お一人おひとりの皆さまに、直接感謝の気持ちを述べるとともに、皆さまと未来を語り合う貴重な機会となりました。

主なプログラム

- ・ 50周年記念映像
- ・ 社長挨拶
- ・ 来賓祝辞
- ・ 乾杯
- ・ 祝宴
- ・ 中締



■ ジェイ・エム・エスの今後の方向性



広島市の公共施設の命名権を取得。

広島で生まれた当社を創業から支え応援してくださった地域の皆さまへの恩返しとして、広島市の中心部、平和記念公園の南に位置する「アステールプラザ」の命名権を取得。本年6月から2020年3月31日まで「JMSアステールプラザ」となります。

アステールプラザは、大中のコンサートホール、図書館、区民文化センター、宿泊施設などを備えた複合文化施設として、広島市民をはじめ国内外からの多くの来訪客に親しまれており、このたびの命名権取得費用は、広島市により同施設の保全や管理運営に活用されます。この施設は大規模災害時には生活避難場所にも指定されており、多くの市民の安全と安心を守る役割も果たします。



「JMSアステールプラザ」の外観

「ペコぱんだ®」を寄贈しました。

2015年7月、広島県を通じて広島県老人保健施設協議会と広島県訪問看護ステーション協議会へ、舌トレーニング用具「ペコぱんだ®」5,000個を寄贈しました。

当社は広島県が取り組む「県民健康促進事業」に賛同しており、この秋開催された介護関連イベントにも広島県老人保健施設協議会と協働で参加いたしました。

疾病や加齢による舌の筋力の低下は、食べ物や飲み物をうまく飲み込めず誤嚥性肺炎を発症するなど、健康を妨げる要因となります。舌の筋力を鍛えるトレーニング用具「ペコぱんだ®」を

より普及させることで、高齢者の皆さまの健康を支えてまいります。



財務諸表《連結》

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前連結会計 年度 2015年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2015年9月30日現在
《資産の部》		
流動資産①	34,431	32,670
現金及び預金	4,711	4,113
受取手形及び売掛金	16,233	15,310
たな卸資産	12,460	12,415
その他	1,025	830
固定資産②	26,021	27,546
有形固定資産	21,055	22,354
無形固定資産	627	560
投資その他の資産	4,337	4,630
資産合計	60,452	60,216

科 目	前連結会計 年度 2015年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2015年9月30日現在
《負債の部》		
流動負債③	20,609	18,786
固定負債④	8,312	10,234
負債合計	28,922	29,021
《純資産の部》		
株主資本	29,749	29,841
その他の包括利益累計額	1,668	1,247
非支配株主持分	112	107
純資産合計⑤	31,530	31,195
負債純資産合計	60,452	60,216

POINT 解説

① 流動資産 [前連結会計年度末に比べ
17億60百万円減少]

・受取手形及び売掛金が減少しました。

④ 固定負債 [前連結会計年度末に比べ
19億21百万円増加]

・長期借入金が増加しました。

② 固定資産 [前連結会計年度末に比べ
15億24百万円増加]

・有形固定資産が増加しました。

⑤ 純資産 [前連結会計年度末に比べ
3億34百万円減少]

・為替換算調整勘定が減少しました。

③ 流動負債 [前連結会計年度末に比べ
18億23百万円減少]

・短期借入金が減少しました。

(注) 金額につきましては、百万円未満を切り捨てて記載しております。

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2014年4月1日～ 2014年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2015年4月1日～ 2015年9月30日
売上高	26,249	28,147
売上原価	19,804	20,998
売上総利益	6,444	7,149
販売費及び一般管理費	6,398	6,625
営業利益	46	523
営業外収益	198	293
営業外費用	101	386
経常利益	143	430
特別利益	168	74
特別損失	18	27
税金等調整前四半期純利益	292	477
法人税等	209	185
四半期純利益	83	291
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	72	288

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2014年4月1日～ 2014年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2015年4月1日～ 2015年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,149	1,522
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,377	△3,180
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,619	1,217
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43	△158
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	1,347	△598
現金及び現金同等物の期首残高	1,995	4,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,343	4,111

>>> POINT 解説

- 営業活動によるキャッシュ・フロー [前年同四半期に比べ
3億72百万円増加]
 - ・ たな卸資産の減少によるものです。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー [前年同四半期に比べ
18億2百万円増加]
 - ・ 有形固定資産の取得にかかる支出の増加によるものです。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー [前年同四半期に比べ
4億1百万円減少]
 - ・ 借入金の収支差額によるものです。

>>> POINT 解説

- ⑥ 売上高 [前年同四半期に比べ
18億98百万円増加]
 - ・ 6期連続増収
 - ・ 地域別では、日本国内向け及び北米向けの販売、システム別では輸液輸血群の販売が増加しました。
- ⑦ 営業利益 [前年同四半期に比べ
4億77百万円増加]
 - ・ 増収効果に加え、製造コスト低減のほか、円安による為替換算の影響が有利に作用しました。

(注) 金額につきましては、百万円未満を切り捨てて記載しております。

会社概要 (2015年9月30日現在)

●当社の概要

設 立	1965年(昭和40年)6月12日
資 本 金	7,411,014,445円
上場金融商品 取 引 所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード:7702)
主要な事業内容	医療機器、医薬品の製造・販売 及び輸出並びに輸入
従 業 員 数	1,608人 (グループ総数 7,060人)

●役員

代表取締役社長	奥 達 宏 章	監査役(常勤)	兼 口 昇 万
常務取締役	栗 根 康 浩	監 査 役	林 原 康 三
取 締 役	国 富 純	監 査 役	早稲田 幸 雄
取 締 役	森 川 重 美		
取 締 役	佐 藤 雅 文		
取 締 役	桂 龍 司		
取 締 役	井 口 明 彦		
取 締 役	池 村 和 朗		

※井口明彦氏、池村和朗氏は、社外取締役であります。
※林原康三氏、早稲田幸雄氏は、社外監査役であります。

JMS グローバルネットワーク

グローバル展開を推進するために、生産拠点・販売拠点を各地域に設置し、事業活動を行っています。

海外ネットワーク

子会社

- ① 株式会社 韓国メディカル・サプライ《医療機器の製造・販売》
- ② ジェイ・エム・エス・シンガポールPTE. LTD.《医療機器・医薬品の製造・販売》
- ③ 大連ジェイ・エム・エス医療器具 有限公司《医療機器の製造・販売》
- ④ ジェイ・エム・エス・ノース・アメリカ・コーポレーション
《医療機器の販売》
- ⑤ バイオニック・メディツィンテックGmbH
《医療機器・医薬品の販売》
- ⑥ PT. ジェイ・エム・エス・バタム《医療機器の製造》
- ⑦ ジェイ・エム・エス・ヘルスケア・フィリピン, INC.
《医療機器の製造》※2016年春 操業開始(予定)



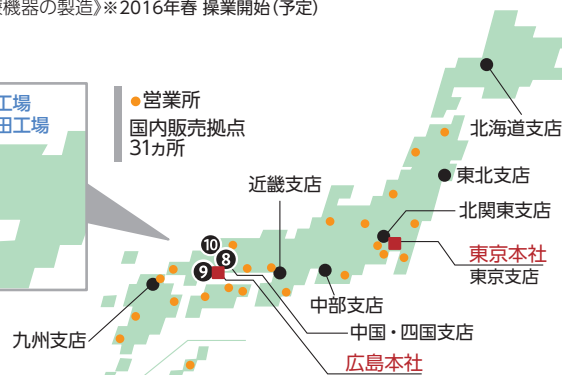
国内ネットワーク

子会社

- ⑧ ジェイ・エム・エス・サービス 株式会社
《医療機器の修理等》
- ⑨ 株式会社 大野《業務請負業》

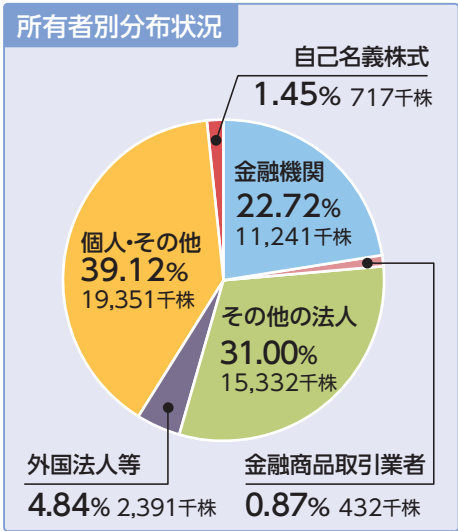
関連会社

- ⑩ 株式会社 ジェイ・オー・ファーマ《医薬品の製造・販売》



株式概要 (2015年9月30日現在)

- ◇発行可能株式総数 …… 100,000,000株
- ◇発行済株式総数 …… 49,466,932株
(自己株式 717,762株を含む)
- ◇株主数 …… 5,430名

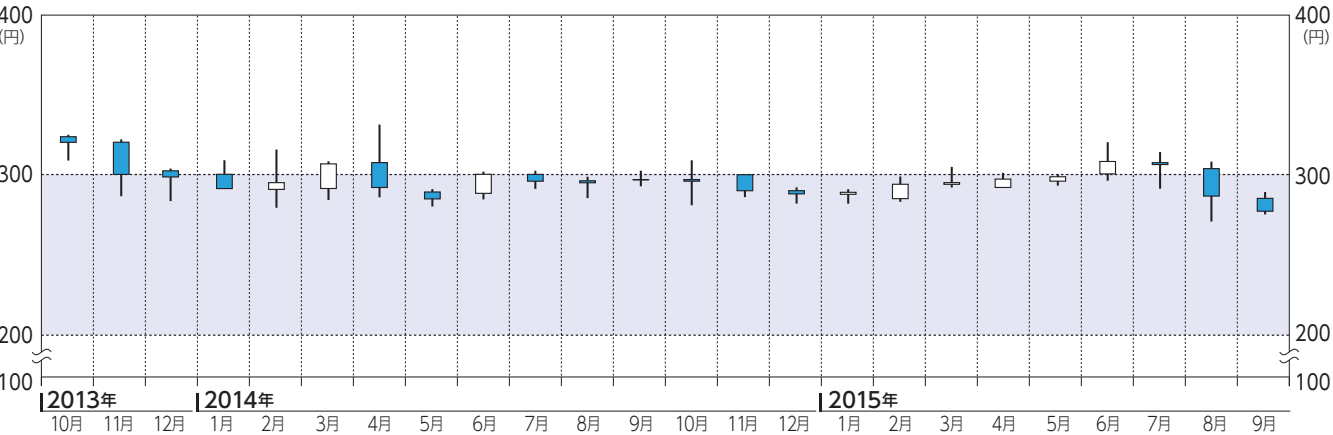


◇大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社カネカ	4,947	10.14
一般財団法人土谷記念医学振興基金	3,800	7.79
土谷佐枝子	2,015	4.13
社会福祉法人千寿会	2,000	4.10
株式会社広島銀行	1,790	3.67
第一生命保険株式会社	1,722	3.53
大下産業株式会社	1,142	2.34
JMS共栄会	994	2.03
西川ゴム工業株式会社	760	1.55
株式会社もみじ銀行	732	1.50

(注) 持株比率は、自己株式(717,762株)を控除して計算しております。

◇株価推移



株主メモ 証券コード: 7702

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
Tel.0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

公告の方法 電子公告とする。
(<http://www.jms.cc/ir/denshi.html>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

ご注意

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



JMS WEBサイトのご案内

当社の経営方針から主な製品、研究開発、IR、腹膜透析等の医療情報まで、多彩な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

▶▶▶ <http://www.jms.cc/> JMS 検索



株式会社 JMS

広島本社

〒730-8652 広島市中区加古町12番17号
TEL 082-243-5844 FAX 082-243-5997

東京本社

〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号 新南大井ビル
TEL 03-6404-0600 FAX 03-6404-0610

【表紙デザイン】

テーマ「幸せのメロディーが聴こえてくる」



人が人を想い、調和を保ち、多くの人が心も体も健やかに暮らせる理想的な社会は、美しいメロディーで構成された曲を思わせます。そしてJMSもその美しい曲を奏でる奏者であることを表現しています。

UD FONT
見やすいユニバーサルフォントを採用しています。